

U.S. Indicators

発表日: 2023 年 5 月 11 日(木)

米国 利上げ休止を妨げないが高い伸び(4 月 CPI)

～コアインフレの低下ペースは依然鈍い～

第一生命経済研究所 経済調査部

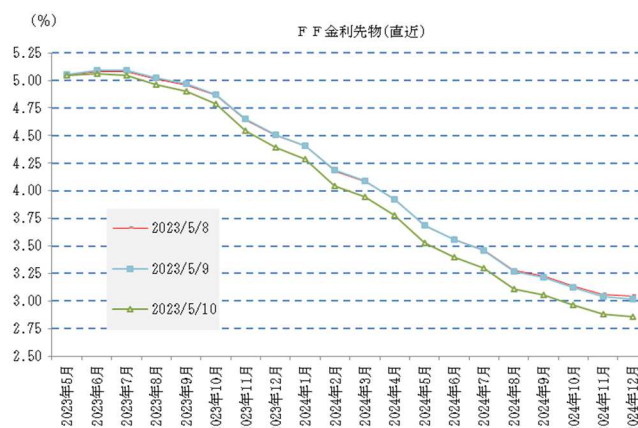
主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel: 050-5474-7493)

23 年 4 月の消費者物価（総合）は、前月比+0.4%（3 月同+0.1%）と加速し、市場予想中央値と一致した。エネルギー・食品を除く消費者物価（C P I コア）が前月比+0.4%（3 月同+0.4%）と市場予想中央値と一致したほか、食品が前月比 0.0%（同 0.0%）と横ばいとなった一方、エネルギーが前月比+0.6%（3 月同▲3.5%）と上昇した。4 月の C P I 総合は、コアの高い伸びが続くなかで、エネルギーの再上昇によって押し上げられた。賃料や帰属家賃が高い伸びを続けるなかで、中古車が急上昇するなど、財価格の上昇ペースが再加速した。インフレの基調を示す C P I コアは前月比で高い上昇を続けており、依然としてインフレ圧力の強いことが確認された。

前年同月比では、総合が+4.9%（3 月+5.0%）と市場予想中央値+5.0%を下回った。C P I コアが+5.5%（前月+5.6%）と小幅低下し、市場予想中央値と一致した。加えて、食品が+7.7%（前月+8.5%）と低下し、エネルギーがベース効果で▲5.1%（前月▲6.4%）と下落した。コアインフレでは、ベース効果で情報機器、中古車の下落幅が縮小したほか、供給不足の続く医薬品など医療用品の上昇によって財価格が上昇した。一方、賃貸料、帰属家賃の高い伸びが続くもと、医療保険、レンタカーの下落などによって、サービス価格は低下した。

C P I 総合は、22 年 6 月の+9.1%をピークに低下傾向を辿っているものの依然高い上昇率にとどまっているほか、C P I コアの低下ペースは鈍く、F R B の目標の前年比+2%からはかなりの距離が依然としてある。今回の C P I 統計は、概ね市場予想通りの結果となり、インフレが再上昇しなかったことから 6 月の利上げ停止の流れを妨げない内容だったといえよう。ただし、インフレの低下が鈍いこともあり、6 月 F O M C での利上げ停止を確定させるには不十分と考えられる。

金融市場の反応をみると、C P I 総合が市場予想を下回ったことから、F F 金利先物は利下げの織り込み度合いを強めた。また、F F 金利先物が示す 6 月 F O M C での政策金利据え置きの可能性が 96.2%に上昇し、25bp の利上げの可能性は 3.8%に低下した。米国債利回りは低下し、為替市場ではドルが対円、対ユーロで下落した。株価は金利に敏感な業種を中心に上昇したものの、引けにかけて業績への懸念等を背景に上げ幅を失った。

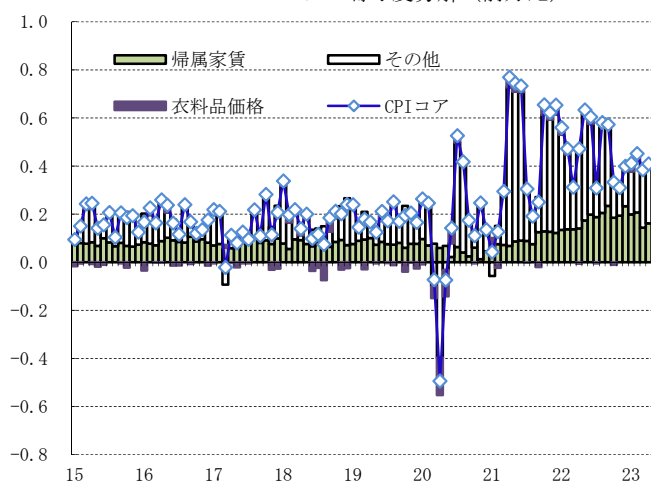


消費者物価

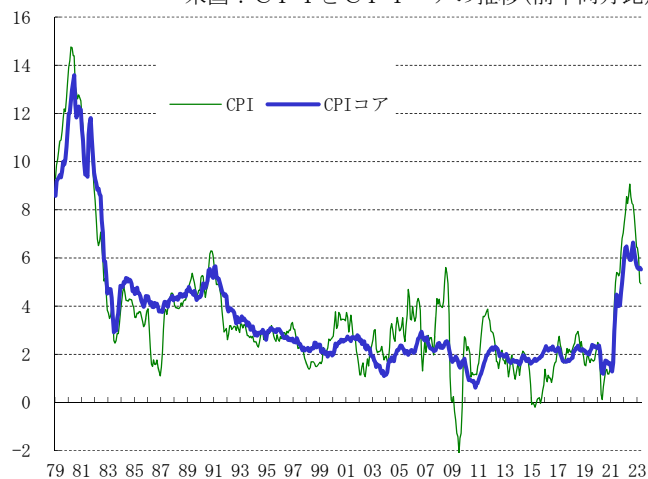
	総合		コア		エネルギー	食料品	住宅	アパレル	運輸	医療	商品 コア	サービス コア
22/04	+0.396	(+8.3)	+0.472	(+6.16)	▲1.0	+0.8	+0.6	▲0.1	▲0.1	+0.4	+0.1	+0.6
22/05	+0.921	(+8.6)	+0.634	(+6.02)	+3.4	+1.1	+0.8	+0.4	+1.8	+0.4	+0.6	+0.6
22/06	+1.188	(+9.1)	+0.604	(+5.92)	+6.9	+1.0	+0.8	+0.7	+3.3	+0.6	+0.6	+0.6
22/07	▲0.034	(+8.5)	+0.309	(+5.91)	▲4.7	+1.1	+0.5	▲0.1	▲2.3	+0.4	+0.1	+0.4
22/08	+0.235	(+8.3)	+0.581	(+6.32)	▲3.9	+0.8	+0.8	+0.3	▲1.6	+0.6	+0.4	+0.6
22/09	+0.413	(+8.2)	+0.573	(+6.63)	▲1.7	+0.8	+0.7	+0.0	▲0.4	+0.7	+0.0	+0.8
22/10	+0.488	(+7.7)	+0.333	(+6.28)	+1.7	+0.7	+0.6	▲0.2	+0.7	▲0.3	▲0.1	+0.5
22/11	+0.205	(+7.1)	+0.310	(+5.96)	▲1.4	+0.6	+0.5	+0.1	▲0.7	▲0.4	▲0.2	+0.5
22/12	+0.131	(+6.5)	+0.399	(+5.71)	▲3.1	+0.4	+0.7	+0.2	▲1.6	+0.3	▲0.1	+0.6
23/01	+0.517	(+6.4)	+0.412	(+5.58)	+2.0	+0.5	+0.8	+0.8	+0.4	▲0.4	+0.1	+0.5
23/02	+0.370	(+6.0)	+0.452	(+5.54)	▲0.6	+0.4	+0.5	+0.8	+0.2	▲0.5	▲0.0	+0.6
23/03	+0.053	(+5.0)	+0.385	(+5.59)	▲3.5	+0.0	+0.3	+0.3	▲0.5	▲0.3	+0.2	+0.4
23/04	+0.368	(+4.9)	+0.409	(+5.52)	+0.6	+0.0	+0.2	+0.3	+1.2	▲0.0	+0.6	+0.4

(注) 括弧内は前年同月比

CPI コアの寄与度分解 (前月比)

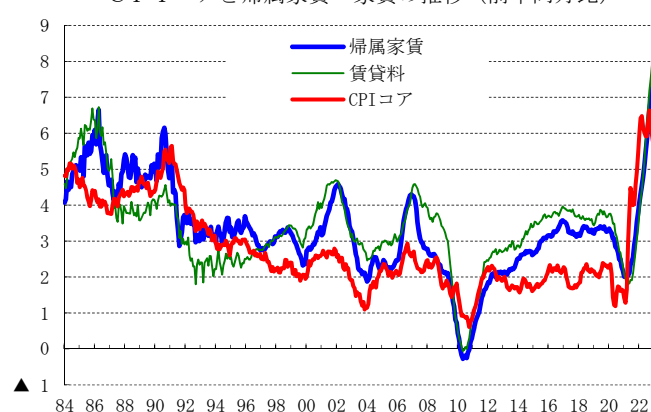


米国：CPIとCPIコアの推移(前年同月比)



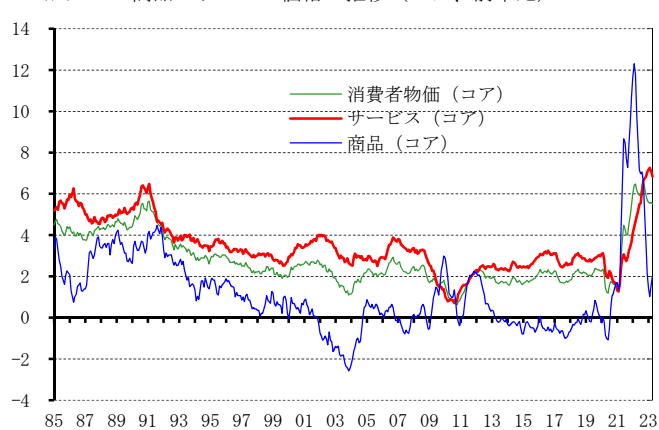
(出所) 米労働省

CPI コアと帰属家賃・家賃の推移 (前年同月比)

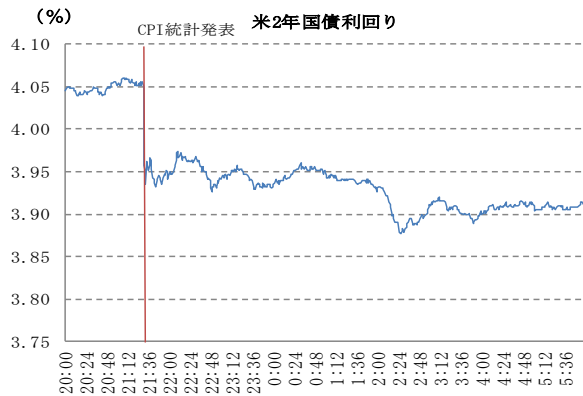
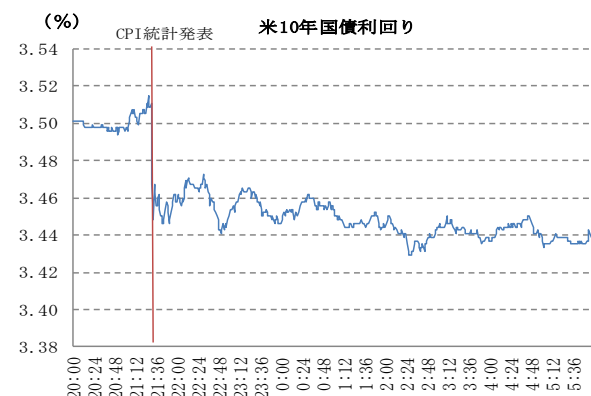
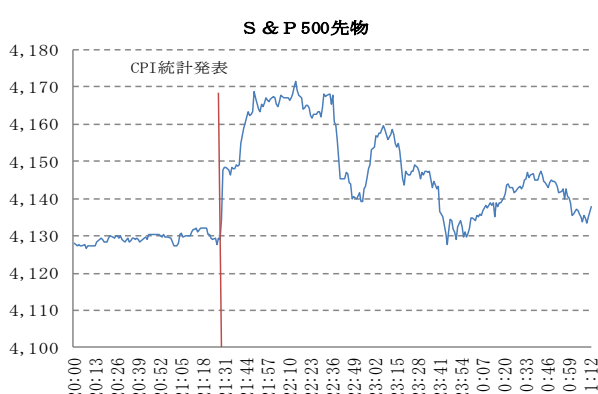


(出所) 米労働省

商品・サービス価格の推移 (コア、前年比)



(出所) 米労働省



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

